

アイマトリックス株式会社

アイマトリックス、メール無害化・情報漏洩防止機能を独自開発・販売開始  
統合型マルウェア・標的型攻撃対策製品「マトリックスゲート with NEXT」

アイマトリックス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:小島 美津夫)は、総務省が「自治体情報システム強靱性向上モデル」として打ち出している自治体情報セキュリティ対策に対応する、「メール無害化機能」および標的型攻撃・マルウェア、不正操作、コンプライアンス違反等による個人情報・マイナンバー・企業機密等の漏えい・流出を未然に防ぐ情報漏洩防止機能を持った新製品、「マトリックスゲート(matriXgate)・NEXT」の販売を開始しました。

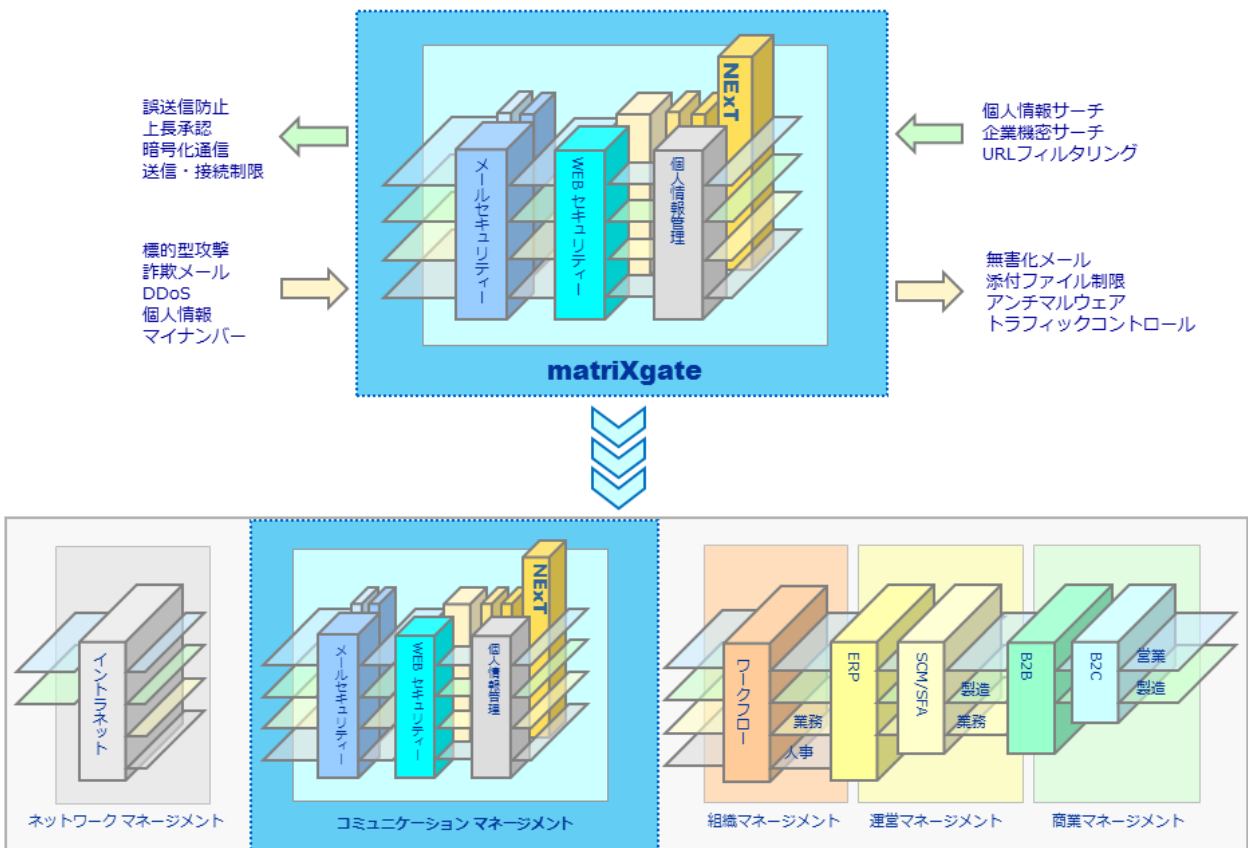
【製品の特徴】

マイナンバー制度の施行や日本年金機構における個人情報流出事件を受け、総務省では自治体情報セキュリティ対策検討チームを立ち上げ、新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化について、具体的なガイドライン「自治体情報システム強靱性向上モデル」が示されました。アイマトリックスでは、このガイドラインにおいてメールシステムに必要とされるマルウェア・標的型攻撃への対応策として、「メール無害化機能」を独自開発、メール・Web関連等において行われる個人情報等の入出力管理機能とともにマトリックスゲートに搭載します。

マトリックスゲートは、アイマトリックスが従来から販売を行っていたEmailセキュリティ製品(マトリックススキャン)に、独自のWebセキュリティ機能を追加し統合型マルウェア・標的型攻撃対策製品として独自開発された純国産製品です。

このたびマトリックスゲートに採用する新たなハイブリッドセキュリティテクノロジー「NEXTテクノロジー」は、拡張性に優れたセキュリティ基盤となっており、「メール無害化機能」もNEXTテクノロジー基板の一機能として提供が行われます。

<< NEXTテクノロジー概念図 >>



## 【NEXtテクノロジー】

### 次世代テクノロジー『NEXt』 >>> No Exit >>> (マルウェア・情報漏洩の)出口はない

標的型攻撃等による情報漏洩を止めるには、従来の入口だけのセキュリティ対策では困難です。出口対策を確実に行うことが、セキュアなコミュニケーションマネジメントを実現する大きなカギとなります。

アイマトリックスは、これまで培った入口対策のEmailセキュリティ「msecテクノロジー」をさらに進化させ、新たな次世代テクノロジー「NEXtテクノロジー」を開発。ステルス性の高いマルウェアを発見する新しいサンドボックスエンジンや、入口と出口の関連情報から脅威を発見する人口知能エンジンを実装します。

例えば受信メールでマイナンバー等の個人情報を入手した瞬間からサーチ・追跡し、メール無害化機能や誤送信防止機能と連動し、誤った情報流出を防ぐフレームワークの構築を実現します。URLフィルタリングによるアクセス制御やmsec / tsecアンチマルウェアにより、巧妙化するサイバー攻撃にも多重に対応します。

#### 「Emailセキュリティ」

- => msecアンチスパム
- => msecアンチマルウェア
- => IP Reputation for msec
- => 誤送信防止機能
  - 送信メール一旦保留機能
  - 添付ファイル暗号化機能
  - 上長承認機能
- => トラフィックコントロール機能
- => メール無害化機能 (new)
- => 個人情報フィルター (new)



#### 「Webセキュリティ」

- => アクセス制御
- => Web/URLフィルタリング機能
- => tsecアンチマルウェア

## 【メール無害化機能】

非インターネットドメイン(LGWAN/官公庁ドメイン等)へメールを配送する際、以下の機能を提供します。

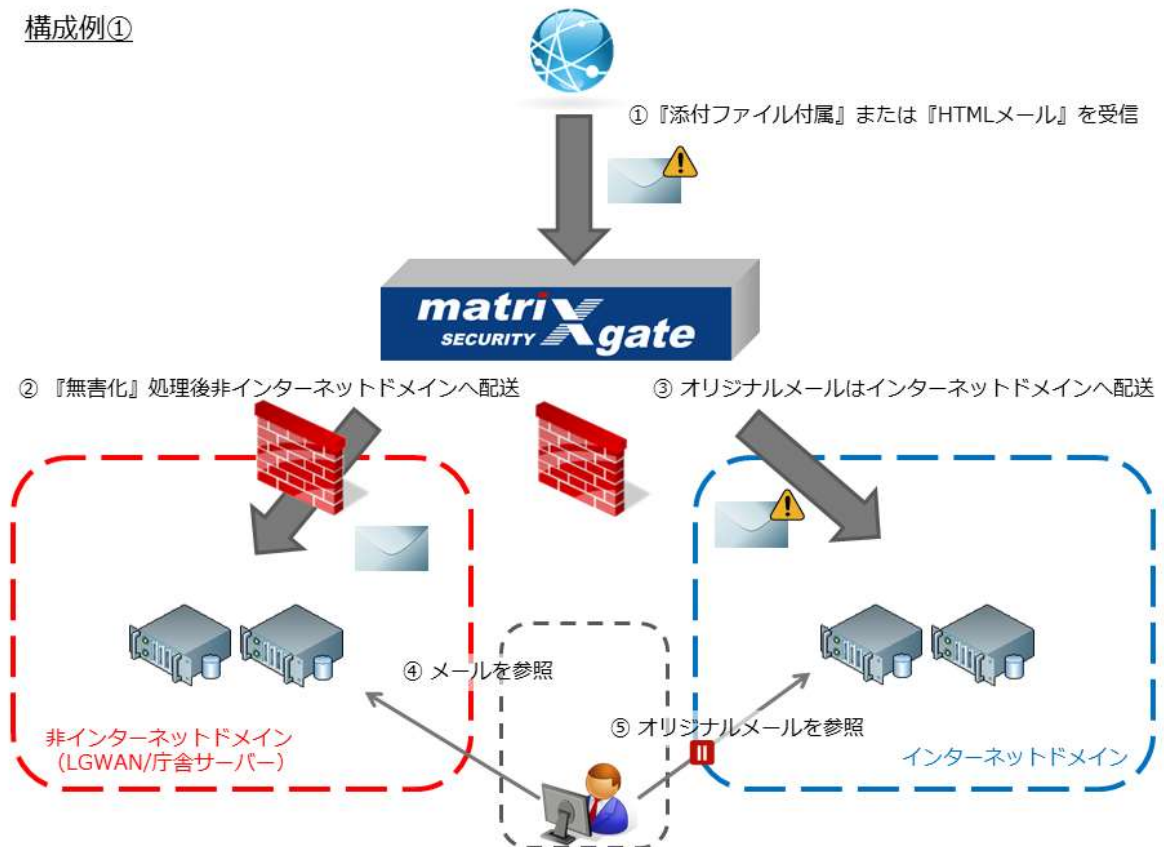
- HTMLパートの削除
- 添付ファイルのテキスト化(及び再画像化)

付属の機能として以下の機能も提供します。

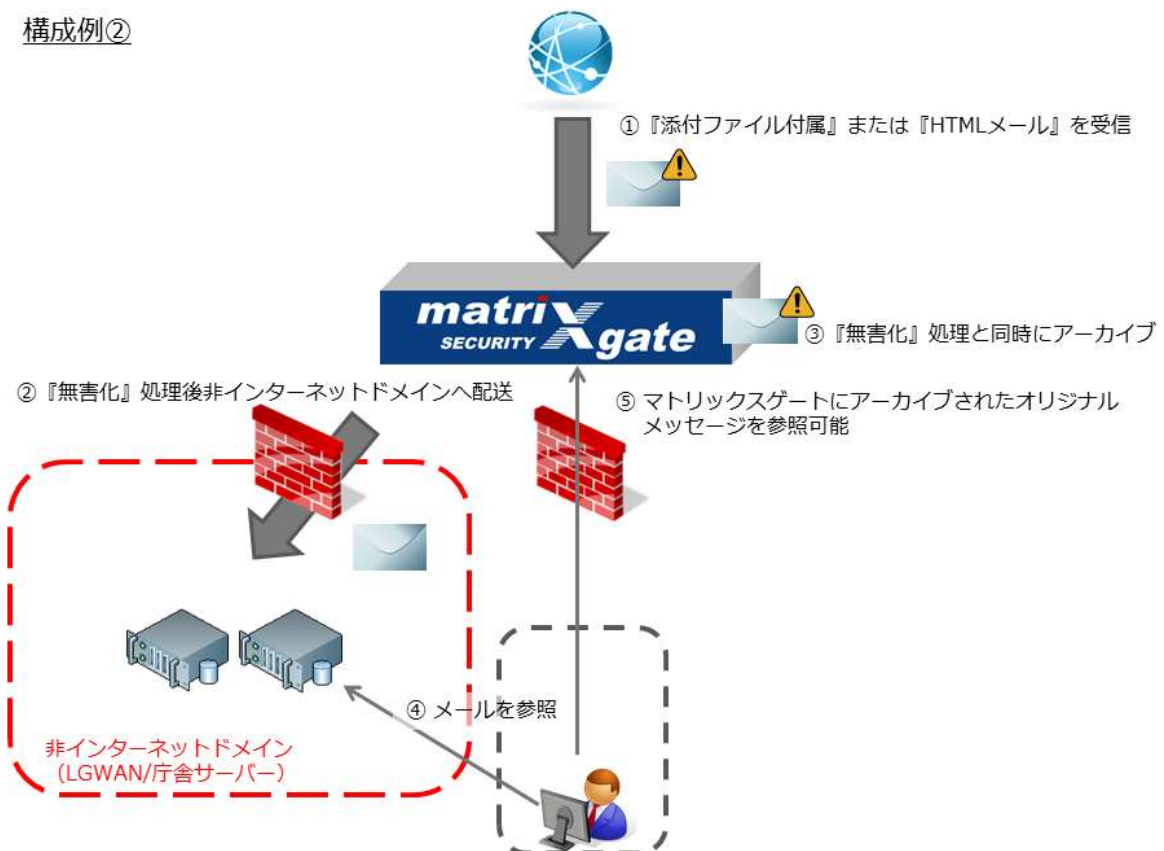
- 配送経路の分割化
  - 例えば、
  - => インターネットドメイン : オリジナルメッセージを配送
  - => 非インターネットドメイン : 無害化されたメッセージを配送が実現可能です。
- アーカイブ機能
  - => オリジナルメッセージの全文(添付ファイルを含む)の閲覧(ユーザー自身および管理者)
  - => アーカイブされたメールの再送信機能

また、本機能に付随するロードマップとして、「承認機能」(仮称)のリリースも予定されています。これは、オリジナルメールを配送する際のオペレーションミスを防止する為一定の権限を持ったユーザーの承認を必要とする機能です。

### 構成例①



### 構成例②



## 【リリース予定】

2016年度第1四半期(4-6月期)

## 【製品詳細】

URL: [http://www.imatrix.co.jp/products\\_gate/index.html](http://www.imatrix.co.jp/products_gate/index.html)

## 【システム価格例】

初年度 ¥526,000.- より (Model-50、1台構成、基本保守含む)

※構成・ユーザー数により変化

※マイグレーション特別価格あり

マトリックススキャンシリーズをご利用中のお客様にはマイグレーション(乗り換え)特別価格で提供可能

## ■ アイマトリックス株式会社について

URL: <http://www.imatrix.co.jp/>

2000年に創立され、主にEメール、システムセキュリティに関連するサービス、技術・市場開発を行ってきたベンチャー企業。日本市場シェアNo.1※の「マトリックススキャン」に代表されるメールセキュリティソリューションの開発・販売を主軸とし、アイマトリックス独自開発技術によるハードウェア・ソフトウェア製品を発売しており、国内大手通信事業者から、企業、大学、ISPと多岐にわたる多くの団体・組織を顧客としています。

※ (市場調査データ: 富士キメラ総研、ミック経済研究所)

## ■ 製品に関するお問い合わせ先

アイマトリックス株式会社

カスタマーリレーションズ 営業担当

TEL: 044-272-6771

E-mail: [sales@imatrix.co.jp](mailto:sales@imatrix.co.jp)

## ■ 報道に関するお問い合わせ先

アイマトリックス株式会社

カスタマーリレーションズ 広報担当

TEL: 044-272-6771

E-mail: [press@imatrix.co.jp](mailto:press@imatrix.co.jp)

